

南海トラフ地震における災害警備活動の強化

M8～9級 今後30年以内の発生率が70～80%程度にまで上昇

南海トラフ地震発生の危険性の高まり



被害予測

- ◆ 全壊棟数 約 153,000棟 (揺れによる全壊 約80,000棟)
- ◆ 死者数 約 42,000人 (津波による死者数 約36,000人)
- ◆ 長期浸水面積 約 4,654ha (特に高知市では甚大な被害)

現在の高知県警察の取組

- 災害対処能力の強化(発生を見据えた各種訓練の実施)
- 地域防災力を高めるための施策の推進(広報啓発活動等の実施)

対応策の強化

政策提言

- 警察の機動力の確保
 - 災害警備活動の充実
 - 災害に強い交通路の確保
- のため、災害警備活動用装備資機材の整備を提言します。

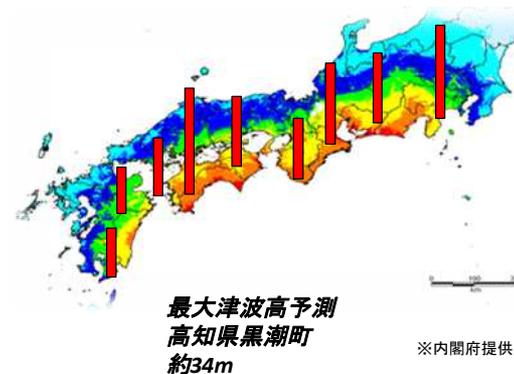
小型重機等



ウレタンボート等



信号機用電源装置



災害対策用資機材等の整備・充実

1 災害警備活動用装備資機材関係

装備名	ウレタンボート及びジェット船外機	単価	合計 約350万円
用途	瓦礫浮遊等で障害物の多い水域での迅速な救出救助活動、情報収集活動用	必要 台数	1台
配備先	宿毛		



装備名	小型重機及び運搬車	単価	合計 約1,000万円
用途	倒壊家屋等の瓦礫を撤去するバックホウ(ショベルカー)及び運搬用車両	必要 台数	各3台
配備先	機動隊及び県東部、西部地区の拠点署		



2 交通対策用資機材関係

装備名	自起動式発動発電機	単価	約300万円
用途	電源供給が途絶した信号機を作動させるための据付型自動起動式電源装置	必要 台数	15台
配備先	県中央部浸水予想地区外		



装備名	リチウム電池式電源装置	単価	約140万円
用途	電源供給が途絶した信号機を滅灯することなく作動させるためのリチウム電池式電源装置	必要 台数	16台
配備先	県中央部浸水予想地区		

